

November 8, 2021

**【前日の為替概況】ドル円、続落 米 10 年債利回りが 1.43%台まで急低下**

5日のニューヨーク外国為替市場でドル円は続落。終値は113.41円と前営業日NY終値(113.76円)と比べて35銭程度のドル安水準だった。10月米雇用統計は非農業部門雇用者数が53.1万人増と市場予想の45.0万人増を上回ったほか、失業率も4.6%と市場予想(4.7%)より強い結果となった。米雇用統計の発表直後はドル買いの反応が見られ、一時114.03円まで本日高値を更新した。ただ、その後は一転して売りが優勢に。米10年債利回りが雇用統計直後につけた1.54%台から1.43%台まで急低下するなか、週末を控えた持ち高調整のドル売りが加速し、2時過ぎには113.30円まで反落。10月28日につけた直近安値の113.26円が意識されると売りも一服したが、引けにかけても戻りは限られた。

ユーロドルは反発。終値は1.1567ドルと前営業日NY終値(1.1554ドル)と比べて0.0013ドル程度のユーロ高水準だった。米雇用統計の発表後に一時ドル買いが進んだ場面では1.1514ドルまで年初来安値を更新したが、その後は徐々に下値を切り上げる展開に。米長期金利の急低下を背景にしたドル売りが強まり、引け前には1.1573ドルまで反発した。

ユーロ円は続落。終値は131.19円と前営業日NY終値(131.44円)と比べて25銭程度のユーロ安水準だった。ユーロドルが年初来安値を更新したことなどに伴って一時130.84円まで下押したが、その後はユーロドルの反発につれて131.20円台まで買い戻された。

**【本日の東京為替見通し】ドル円の上値は限定的か、米金利に左右され東京時間はトレンド出ず**

本日の東京時間のドル円は、先週末の上値の重さを見ると、113円台を拾った場合も利食える余地が徐々に狭くなってきていることで、東京市場でのドル円の頭は重くなりそうだ。

もともと、ここ最近では米債市場の為替市場が連れて動くことが多く、東京時間に米債市場がトレンドを作るのは難しく、東京時間の為替市場は動きにくい。先週の米雇用統計発表後、為替市場は非農業部門雇用者数変化と失業率がともに好結果となったことで、ドル買いを仕掛けドル円は114円台を回復した。しかしながら、為替市場がブルになる中で米債市場は、はじめは米金利が上昇したもののすぐに元の水準に戻し、その後は大きく低下した。先週の欧米時間の値動きを見ていても、米債市場と為替市場には「ずれ」があり、米債市場ではすでに材料を織り込んでいるにもかかわらず、為替市場はその織り込みを度外視して動いてしまい、後から米金利に追随しポジションをカットさせられる動きが続いた。今週も米債市場が為替市場を牽引することは変わらないだろう。

週末のニュースとしては、昨日7日に中国の10月貿易収支が発表されている。輸出が好調で市場予想を上回り、過去最高となる貿易黒字を記録している。対米黒字も巨額となったことで、通商交渉や為替操作指定国の指定など、今後の米国の対応が注目される。

また、グランホルム米エネルギー長官は日曜日のCNNの番組で、バイデン米大統領がガソリン価格の引き下げのために戦略石油備蓄(SPR)の放出を検討していると述べている。原油先物取引の動向が為替市場に影響を与える可能性もあることで、週明けの値動きに留意しておきたい。

本日は東京時間には市場を動意づけるような主だった経済指標の発表は予定されていない。しかしながら、NY午後からパウエルFRB議長はじめFRB関係者の講演が複数予定されていることに注目が集まる。なお、昨日7日から米国は冬時間に移行する。

ドル円以外には、ポンドの動きに要警戒。週末に複数の英紙が、英国が今週にも北アイルランド議定書(プロトコル)の第16条で付与された権限を行使する可能性があることを報じている。欧州入り後にポンドの動きが活発になりそうだ。

**【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間**

&lt;国内&gt;

- 〇08:50 ◇ 10月外貨準備高
- 〇08:50 ◇ 日銀金融政策決定会合における主な意見(10月27-28日分)
- 〇14:00 ◇ 9月景気動向指数速報値(予想:先行99.8/一致87.9)

## &lt;海外&gt;

- 15:45 ◇ 10月スイス失業率（季節調整前、予想：2.6%）
- 22:10 ◎ レーン欧州中央銀行（ECB）専務理事兼主任エコノミスト、講演
- 23:00 ◎ クラリダ米連邦準備理事会（FRB）副議長、講演
- 9日 00:30 ◎ パウエルFRB議長、あいさつ
- 9日 02:00 ◎ ハーカー米フィラデルフィア連銀総裁、講演
- 9日 02:00 ◎ ボウマンFRB理事、講演
- 9日 03:00 ◎ 米財務省、3年債入札
- 9日 03:50 ◎ エバンズ米シカゴ連銀総裁、講演
- ユーロ圏財務相会合
- 米国は7日から冬時間に移行済み

9日

## &lt;国内&gt;

- 08:30 ◇ 9月毎月勤労統計（現金給与総額）
- 08:50 ◎ 9月国際収支速報

## &lt;海外&gt;

- 09:01 ◇ 10月英小売連合（BRC）小売売上高調査
- 09:30 ◇ 10月豪NAB企業景況感指数

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

5日 09:30 豪準備銀行(RBA)四半期金融政策報告  
「GDP見通しは2021年12月が+3.0%(前回は+4.0%)、  
2022年12月が+5.5%(前回は+4.25%)、2023年12月  
が+2.5%(前回+2.5%)」  
「基礎的インフレ見通しは2021年12月が+2.25%(前回  
は+1.75%)、2022年12月が+2.25%(前回は+1.75%)、  
2023年12月は+2.50%(前回は+2.50%)」  
「利上げについては忍耐強くある用意」  
「最初の利上げは2024年となる可能性が高い」  
「より高い家計資産に対する消費の反応が見通しの主  
要な不確実性」

5日 16:54 デギンドス欧州中央銀行(ECB)副総裁  
「最近のインフレ高進の要因は本質的に一時的なもの」  
「来年はインフレが低下する」

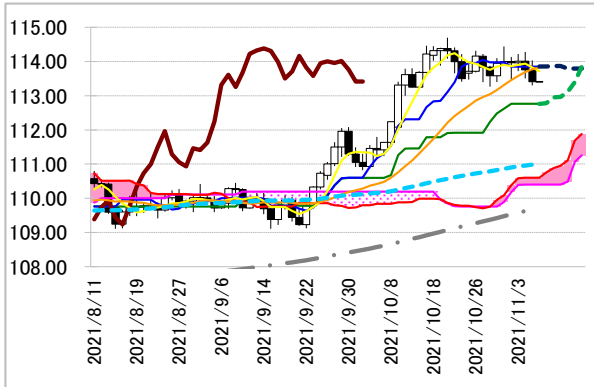
5日 22:19 ラムステン・イングランド銀行(英中銀、BOE)  
副総裁  
「賃金インフレを防ぐために利上げが必要」  
「労働市場はひっ迫していくと考えている」

5日 22:25 ジョージ・ミカンザス・ティンバレンク連銀総裁  
「インフレ圧力で辛抱強くなれるとの説得力が低下」  
「供給の混乱がインフレ圧力を強めている」

5日 23:08 テンレイロ英中銀金融政策委員会(MPC)委  
員  
「BOEはデータに基づき、慎重なアプローチが必要」  
「金融政策は短期間のショックを相殺するものではない」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

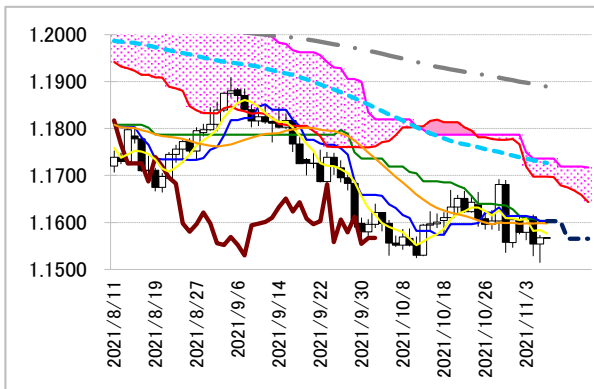


### <ドル円＝基準線付近までの下押しも視野>

陰線引け。一目均衡表・転換線 113.85 円付近で上値が重く、徐々に水準を切り下げる展開となった。

現在 112.76 円に位置する一目・基準線付近までの下押しも視野に入れた状態。ただ、上昇傾向の基準線付近では底堅さを示すとみる。転換線と基準線に挟まれたレンジ中心の動きながら、基準線の動きに沿って戻りを試すことになるか。

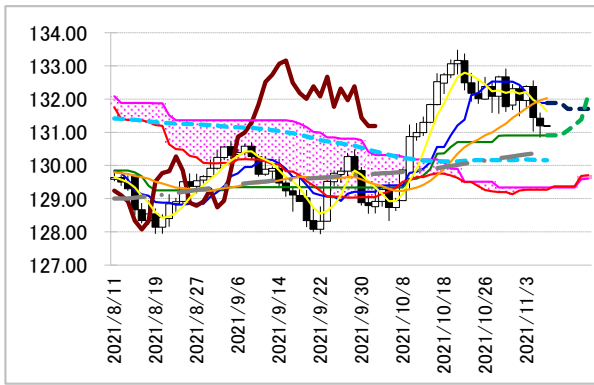
レジスタンス 2	114.44(11/1 高値)
レジスタンス 1	113.85(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	113.41
サポート 1	112.76(日足一目均衡表・基準線)



### <ユーロドル＝転換線と基準線が重なり抵抗に>

下影小陽線引け。一時 1.1514 ドルまで下落幅を拡大し、年初来安値を更新している。いったん反発しているものの、一目均衡表・転換線と基準線が重なっている 1.1603 ドルが抵抗となり、1.16 ドル台を回復しての推移を難しくしそう。さらに、転換線は今後の低下が予想され、戻りを鈍らせていくと考えられる。

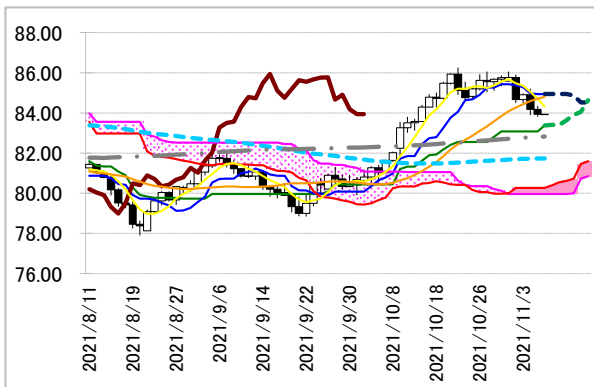
レジスタンス 1	1.1603(日足一目均衡表・転換線および基準線)
前日終値	1.1567
サポート 1	1.1514(11/5 安値＝年初来安値)



### <ユーロ円＝基準線を下回る水準で下げ渋る>

上影小陰線引け。131 円割れとなり、一時 130.84 円と 10 月 12 日以来の水準へ下振れた。しかし、一目均衡表・基準線 130.91 円を下回る同水準で下げ渋り、131 円台を回復して週引け。同線の上昇をとめない、やがて一目・転換線付近へ戻す展開を想定する。

レジスタンス 1	131.88(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	131.19
サポート 1	130.71(9/22-10/20 上昇幅の半値押し)



### <豪ドル円＝転換線・基準線が交差する水準へ収れんか>

小陰線引け。83.80 円台と、10 月 14 日以来の安値水準までじり安となった。現在 84.93 円に位置する一目・転換線と、83.37 円の基準線に挟まれたレンジ中心の推移となるか。目先は下向きの流れが多少進んでも、転換線と基準線の交差が予想される 83.80-83.90 円台付近へやがて収れんする展開を見込む。

レジスタンス 1	84.50(11/2・3 安値)
前日終値	83.93
サポート 1	83.37(日足一目均衡表・基準線)

